

【岡山市教育委員会】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和5年11月実施）の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数は、125校（小学校87校、中学校37校、義務教育学校1校）のうち104校であり、総学校数に占める割合は、約83.2%である。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定スケジュール

本市においては、推奨帯域を満たしていない課題を特定できていないため、現在、専門的知識を有する民間事業者にネットワークアセスメントを実施させ、令和7年3月までに課題の特定を行う。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、令和7年5月から改善策の検討及び検証を開始し、令和8年3月までに対象校における改善策を完了させる予定である。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

本市による独自調査の結果、現在使用しているAP間の電波干渉が確認されたため、順次設定変更による改善を実施。また、WAN側回線の帯域不足を解消するため児童生徒数が本市平均以上の学校に対して分岐数の少ない回線を追加整備して冗長構成とし、2本の回線で負荷分散を行いながら通信できるように改善している。

しかしながら、以上の状況では根本解決が図れないと判断し、（2）による対策により課題解決を図るものである。